

# 第3回 球磨川流域治水協議会 【訂正内容】

訂正日：令和3年6月24日

訂正箇所：「資料-3(44ページ)」

訂正前

「河川区域での対策」実施による効果について(人吉市街部61k600付近(ケース2)) 44

○第一段階完了時点(①)において、約15cmの水位低減効果、第二段階途中時点(遊水地まで完了)(②)において、更に約30cmの水位低減効果、第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了時点)(③)において、効果は確認されない。緊急治水対策プロジェクト完了時点(④)において、更に約2.0mの水位低減を図る効果があり、堤防天端から越水しない状況になると推定。

<ケース2 令和2年7洪水(実績)：人吉地点ピーク流量約7,400m<sup>3</sup>/s>

- ：現況(対策実施前水位)
- ：①第一段階完了時点(掘削及び幅中埋・宅地かさ上げまで完了とした時点)
- ：②第二段階途中時点(遊水地まで完了とした時点)
- ：③第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了とした時点)
- ：④緊急治水対策プロジェクト完了時点

現況-①：約15cm  
現況-②：約45cm  
現況-③：約45cm  
現況-④：約260cm

球磨川 ↓

【水位低減効果の算定条件】  
・現況(対策実施前)の計算水位と各対策時点の計算水位の差を痕跡水位からの効果として図示。  
・水理計算に用いた河道は、「平成28年度～令和元年度」の測量成果をもとにしている。

河川区域での対策効果イメージ(人吉市街部)

※ 本資料の計算水位は一定の与条件による「暫定値」であるため、今後変更の可能性がある。

訂正

訂正後

「河川区域での対策」実施による効果について(人吉市街部61k600付近(ケース2)) 44

○第一段階完了時点(①)において、約15cmの水位低減効果、第二段階途中時点(遊水地まで完了)(②)において、更に約15cmの水位低減効果、第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了時点)(③)において、更に約30cmの水位低減効果。緊急治水対策プロジェクト完了時点(④)において、更に約2.0mの水位低減を図る効果があり、堤防天端から越水しない状況になると推定。

<ケース2 令和2年7洪水(実績)：人吉地点ピーク流量約7,400m<sup>3</sup>/s>

- ：現況(対策実施前水位)
- ：①第一段階完了時点(掘削及び幅中埋・宅地かさ上げまで完了とした時点)
- ：②第二段階途中時点(遊水地まで完了とした時点)
- ：③第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了とした時点)
- ：④緊急治水対策プロジェクト完了時点

現況-①：約15cm  
現況-②：約30cm  
現況-③：約45cm  
現況-④：約260cm

球磨川 ↓

【水位低減効果の算定条件】  
・現況(対策実施前)の計算水位と各対策時点の計算水位の差を痕跡水位からの効果として図示。  
・水理計算に用いた河道は、「平成28年度～令和元年度」の測量成果をもとにしている。

河川区域での対策効果イメージ(人吉市街部)

※ 本資料の計算水位は一定の与条件による「暫定値」であるため、今後変更の可能性がある。

## 【訂正内容】

- ・当該ページ右側に記載している水位低減効果 現況-②について、約45cmを約30cmへ訂正
- ・②第二段階途中時点(遊水地まで完了とした時点)の推定水位を示す線(●——)を追加し訂正
- ・上記に伴い、上段の説明書きの内容を訂正

# 第4回 球磨川流域治水協議会 【訂正内容】

訂正日：令和3年6月24日

訂正箇所：「資料-3(83ページ)」

訂正前

「河川区域での対策」実施による効果について(人吉市街部61k600付近(ケース2)) 83

○第一段階完了時点(①)において、約15cmの水位低減効果、第二段階途中時点(遊水地まで完了)(②)において、更に約30cmの水位低減効果、第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了時点)(③)において、効果は確認されない。緊急治水対策プロジェクト完了時点(④)において、更に約2.0mの水位低減を図る効果があり、堤防天端から越水しない状況になると推定。

<ケース2 令和2年7洪水(実績)：人吉地点ピーク流量約7,400m<sup>3</sup>/s>

- ：現況(対策実施前水位)
- ：①第一段階完了時点(掘削及び軸中埋・宅地かさ上げまで完了とした時点)
- ：②第二段階途中時点(遊水地まで完了とした時点)
- ：③第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了とした時点)
- ：④緊急治水対策プロジェクト完了時点

現況-①：約15cm  
現況-②：約45cm  
現況-③：約45cm  
現況-④：約250cm

球磨川 ↓

【水位低減効果の算定条件】  
・現況(対策実施前)の計算水位と各対策時点の計算水位の差を痕跡水位からの効果として図示。  
・水理計算に用いた河道は、「平成28年度～令和元年度」の測量成果をもとにしている。

河川区域での対策効果イメージ(人吉市街部)

※ 本資料の計算水位は一定の条件による「暫定値」であるため、今後変更の可能性がある。



訂正後

「河川区域での対策」実施による効果について(人吉市街部61k600付近(ケース2)) 83

○第一段階完了時点(①)において、約15cmの水位低減効果、第二段階途中時点(遊水地まで完了)(②)において、更に約15cmの水位低減効果、第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了時点)(③)において、更に約15cmの水位低減効果。緊急治水対策プロジェクト完了時点(④)において、更に約2.0mの水位低減を図る効果があり、堤防天端から越水しない状況になると推定。

<ケース2 令和2年7洪水(実績)：人吉地点ピーク流量約7,400m<sup>3</sup>/s>

- ：現況(対策実施前水位)
- ：①第二段階完了時点(掘削及び軸中埋・宅地かさ上げまで完了とした時点)
- ：②第二段階途中時点(遊水地まで完了とした時点)
- ：③第二段階完了時点(人吉地区の河道掘削(拡幅部)、引堤まで完了とした時点)
- ：④緊急治水対策プロジェクト完了時点

現況-①：約15cm  
現況-②：約30cm  
現況-③：約45cm  
現況-④：約250cm

球磨川 ↓

【水位低減効果の算定条件】  
・現況(対策実施前)の計算水位と各対策時点の計算水位の差を痕跡水位からの効果として図示。  
・水理計算に用いた河道は、「平成28年度～令和元年度」の測量成果をもとにしている。

河川区域での対策効果イメージ(人吉市街部)

※ 本資料の計算水位は一定の条件による「暫定値」であるため、今後変更の可能性がある。

## 【訂正内容】

- ・当該ページ右側に記載している水位低減効果 現況-②について、約45cmを約30cmへ訂正
- ・②第二段階途中時点(遊水地まで完了とした時点)の推定水位を示す線(●——●)を追加し訂正
- ・上記に伴い、上段の説明書きの内容を訂正